

令和元(2019)年産なしの管理ポイント (第10報)

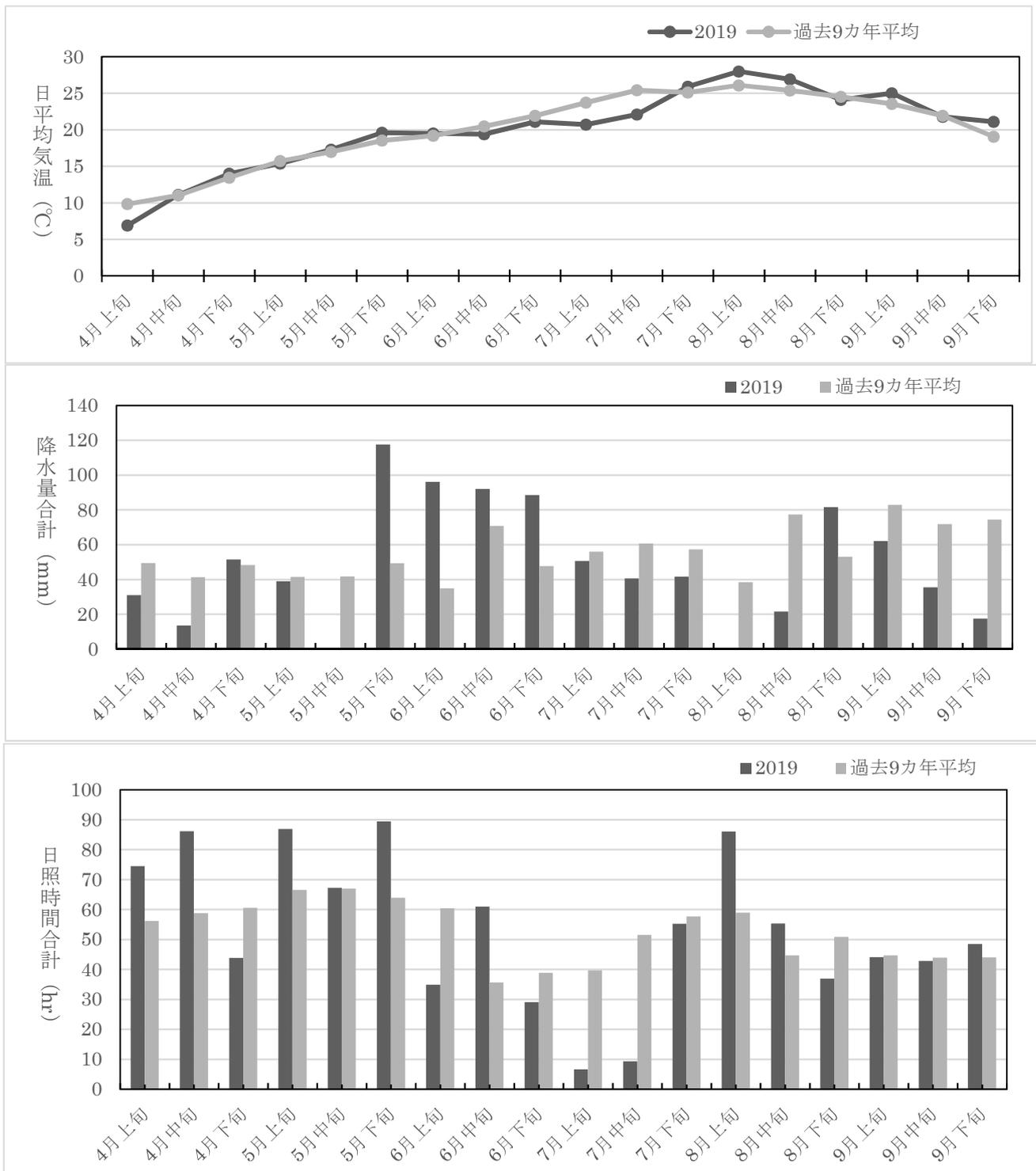
令和元(2019)年 10月10日

栃木県塩谷南那須農業振興事務所経営普及部

☆今回の重点ポイント

- 「にっこり」の収穫
 - ・収穫時カラーチャートの厳守
- 病害虫防除
 - ・「にっこり」の収穫前防除
 - ・令和2年産のための黒星病対策（秋季防除、落葉処理）

1 気象経過 (アメダス：那須烏山)



2 「にっこり」の生育状況

- ・農業試験場（宇都宮市）の果実肥大は平年よりやや小さい。果実比重及び果実硬度は平年並。
- ・果肉障害について9月下旬～10月上旬（満開後161～169日）に過去に発生の見られた管内ほ場を数カ所調査した結果、選果に影響を及ぼすような重度の障害はほとんど見られなかった。

表1 果実肥大経過（農業試験場）

品種名	調査地点	開花盛日	年次	果実横径mm（満開後日数）						
				30日	60日	90日	120日	150日	160日	170日
にっこり	農業試験場 （宇都宮市）	4/17	本年	24.5	40.8	59.3	86.7	108.9	114.3	117.3
			平年	23.9	40.9	57.5	87.7	111.3	116.4	121.4
			平年比	103%	100%	103%	99%	98%	98%	97%

表2 果実比重及び果実硬度（農業試験場）

調査項目	満開後日数	150日	160日	170日
果実比重	本年	1.028	1.025	1.024
	前年	1.030	1.028	
	平年	1.028	1.025	1.025
果実硬度 lbs	本年	7.0	5.3	4.1
	前年	6.0	6.3	
	平年	5.9	5.3	4.5

3 「にっこり」の生育予測

- ・農業試験場（宇都宮市）における「にっこり」の収穫期予測は表3のとおり
- ・農業試験場の開花盛日と各地区の開花盛日との差も考慮して自園の収穫期を予測する。

表3 にっこりの収穫期予測

品種名	調査地点	開花盛日		収穫始	収穫盛
にっこり	農業試験場 （宇都宮市）	4/17	予測値	10/13	10/23
			平年比	-3	-6
			前年比	-1	+3

※ 「-」は早い、「+」は遅いの意

【参考】本年の管内各地区における「にっこり」の開花盛日

○南那須地域

No.	地区名	開花盛日
		にっこり
1	大桶	4/19
2	興野（北）	4/16
3	興野（南）	4/19
4	滝	4/16
5	中山（上）	4/18
6	中山（下）	4/19
7	福岡	4/19
8	八ヶ代（上）	4/14
9	八ヶ代（下）	4/19
10	芳井	4/19
平均		4/17

○塩谷地域

No.	地区名	開花盛日
		にっこり
1	台新田	4/16
2	大谷	4/17
3	柏崎	4/18
平均		4/17

4 当面の管理ポイント

(1) 「にっこり」の収穫

- ・自園の収穫期予測、果色、食味等を十分確認の上、収穫を開始する。
- ・各部会目揃会で決定した収穫時カラーチャート値、出荷申し合わせ事項に沿って収穫・予備選果を行う。
- ・気温が高い状態が続く予報のため、収穫した果実の品温管理に注意する。

(2) 病害虫防除

① 「にっこり」の収穫前防除の徹底

輸出や長期貯蔵販売に安定的に供しうる「にっこり」生産を図るため、各部会防除指針に則って、収穫前の防除を徹底する。

② 令和2年産のための黒星病対策

○秋季防除の実施

- ・10月中旬頃に次年度のえき花芽のりん片に感染し、次年産の重大な伝染源となるので、10月中旬から10日間隔で3～4回予防剤を散布する。
- ・最終散布は50%落葉時を目安とする。ポイントは枝全体に薬液がよくかかるように散布量を多めにし、遅い時期まで散布すること。

○落葉処理の徹底

ほ場内及びほ場周辺の落葉も次年産の重大な伝染源となるので、ロータリーで土中にすき込むなどの処理を行い、くれぐれも放置しない。

農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！



身支度も
万全に！

- ① 農薬容器のラベルをよく読み正しく使う
- ② 農薬の飛散防止を徹底する
- ③ 農薬の使用状況を正確に記帳する

(3) 台風・大雨の被害防止対策

- ① 収穫の適期を迎えている果実は、できるだけ収穫する。
- ② 強風による枝や果実の損傷を軽減するため、結果枝等を棚によく固定しておく。
- ③ 苗木は、倒伏を軽減するため、支柱に固定しておく。特に、育苗中の「大苗」は倒伏しやすいので特に注意する。
- ④ 大雨対策
 - ・大雨による冠水等が心配されるので、事前に排水溝を設けるなど、対策を講じておく。
 - ・ゴミや刈り払った雑草が水路を塞がないよう、事前に取り除いておく。
- ⑤ 多目的防災網等の点検・補修
 - ・網が飛ばされたり破られたりしないよう固定状況を点検するとともに、破損部があると強度が低下するので補修をしておく。
 - ・目が細かい多目的防災網等を展張しているほ場は、網の外側に支柱等を建てて棚線に固定する。
- ⑥ 被害後速やかに回復措置がとれるよう、排水対策や施設等の修復、病害防除等の準備をしておく。



気象災害による農業被害を未然に防ぐため、
技術対策情報が携帯電話等に直接メール配信される
「とちぎ農業防災メール」のご登録をお願いします！
併せて、気象警報・注意報等が直接メール配信される
「栃木県防災メール」のご登録をお願いします！



↑「とちぎ農業防災メール」
登録はコチラから



↑「栃木県防災メール」
仮登録はコチラから

5 長期予報

(1) 1か月予報（10月3日気象庁発表 関東甲信地方10/5～11/4の天候見通し）

○特に注意を要する事項

- ・期間のはじめは気温がかなり高くなる見込み

○予想される向こう1か月の天候

- ・天気は数日の周期で変わる

○向こう1か月の各階級の確率

- ・気 温 低 い10% 平年並30% 高 い60%
- ・降 水 量 少ない30% 平年並30% 多 い40%
- ・日照時間 少ない40% 平年並30% 多 い30%

(2) 3か月予報（9月25日気象庁発表 関東甲信地方10～12月の天候見通し）

○予想される向こう3か月の天候

- ・10月 天気は数日の周期で変わる
- ・11月 平年と同様に晴れの日が多い
- ・12月 平年と同様に晴れの日が多い

○向こう3か月の各階級の確率

- ・気 温 3か月 低 い20% 平年並30% 高 い50%
- 10月 低 い20% 平年並30% 高 い50%
- 11月 低 い20% 平年並40% 高 い40%
- 12月 低 い20% 平年並40% 高 い40%
- ・降 水 量 3か月 少ない30% 平年並40% 多 い30%
- 10月 少ない30% 平年並40% 多 い30%
- 11月 少ない30% 平年並40% 多 い30%
- 12月 少ない20% 平年並40% 多 い40%

(3) 寒候期予報（9月25日気象庁発表 関東甲信地方10～2月の天候見通し）

○予想される冬（12～2月）の天候

- ・平年と同様に晴れの日が多い

○冬（12～2月）の各階級の確率

- ・気 温 低 い20% 平年並40% 高 い40%
- ・降 水 量 少ない30% 平年並30% 多 い40%